

信号連動した右折発光標設置による交通事故対策～事故約3割減！～

- ・秋田市中心部にある5つの交差点は、交通量・車線数が多く、交差点内での交通事故が多発。主な事故要因として右折車両の「短絡走行」が考えられる。
- ・「短絡走行」の解消を図るため、秋田県警本部と協同し、信号機と連動した右折発光標を設置し、交差点事故対策（走行位置の明確化）を実施
- ・結果、交通事故が、約3割減少し、また、対策後に実施したアンケートでは、約9割の利用者から対策効果を実感したとの評価を得るとともに、冬期事故対策としても高い評価を得た

【位置図】



国道7・13号

茨島、四ツ小屋入口、臨海十字路、古川添、港大橋前の5交差点

▼危険な交通挙動（右折直進事故）

【本来の右折車の走行軌跡】
対向車線の横断距離が最短

【短絡走行】
対抗直進車を意識して早く曲がろうとして車線の横断距離が長くなる

信号機と連動し、右折標が発光し、走行位置が明確化！

対策前

右折車両の走行軌跡が煩雑（短絡走行）により、交差点内事故の危険性高い

計測断面

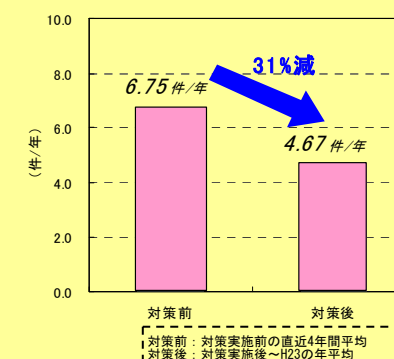
対策後

走行位置が安定し、交差点内の走行が適正化！

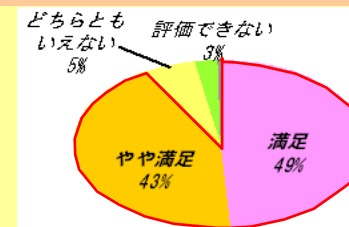
計測断面

※CCTV画像より走行軌跡を解析

■ 事故発生件数が約3割減!! (5交差点平均)



■ 地域住民の約9割が効果を実感!!



■ 冬期事故対策としても有効性が高いとの評価!!

